85464369556000

試運転担当のかたへ

アグリmo ぐっぴー専用	HFC系冷媒R410A専用		表面
	室内ユニット	高効率　PXシリーズ	

1. 注　意

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線とS－LINKアダプターが必要になります

裏面参照

- このユニットは、CS－P180AG3では、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプで使用することができます。また、CS－P112AG3では、室外ユニット1台に室内ユニットを2台接続して使用することができます。
- 室内ユニットを複数台使用する場合は、＜項目6＞″システムコントロールする場合″も合わせて参照してください。
- 室内・室外ユニットのコントロール基板には、半導体記憶素子（不揮発性メモリ）を使用しております。工場出荷時は、運転に必要な設定がされております。
- 適正な室内・室外ユニット組み合わせ以外でのご使用はできません。
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして″取扱説明書″を説明した上で、実際に操作していただいてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内ユニット7P端子板のSG1，SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
  ※誤ってAC200Vを印加した場合は室内コントロール基板のヒューズ（0．4A）を溶断して基板を保護するようにしています。配線の接続を修正した後、基板に接続されている、2Pコネクタ（青、OC）を外して、2Pコネクタ（茶，EMG）に差し換えてください。
  茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線（JP007）をカットしてください。
  （作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください。）
- 室外ユニット7P端子板のSG（SG1），SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
  ※誤ってAC200Vを印加した場合は、回路を溶断して基板を保護するようにしています。
  配線の接続を修正した後、室外コントロール基板の（EMG）コネクタに接続されている短絡ピンを「1から2」へ差し替えてください（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください）

2. 試運転

3. 試運転前の確認項目

1　手元電源スイッチは圧縮機保護のため１２時間以上前に入れてください。

2　配管および電気配線が正しく接続されていることを確認の上、ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4. リモコン試運転設定

1　リモコンの 点検 ボタンを４秒以上押してから、運転／停止 ボタンを押してください。

- 試運転中は液晶表示部に 試運転 または ＴＥＳＴ と表示されます。
- 「試運転」モードでは、温度調節はできません。
（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2　「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後は約３分間は室外ユニットは運転しません。

3　正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
下記＜項目５＞″自己診断機能表″を参照して修正してください。

4　試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の 試運転 または ＴＥＳＴ 消灯を確認してください。（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー試運転解除機能付となっています。）

5　インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を１０分以上行ってください。（欠相確認のため）

５．自己診断機能表と処理方法

ワイヤードリモコンなどの表示	原因				処置方法
	１：１接続の場合（シングルタイプ）	グループ制御の場合	ツインタイプの場合	親・子リモコン制御の場合	
全く表示されない	● リモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
「設定中」が消えない（１０分程度）	● 室内外能力の不一致、他。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 下記室外自動アドレス中のＬＥＤ表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。
″Ｅ０１″表示	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線および信号線の断線・接続不良。 ● リモコンが正しく接続されていない。（リモコン受信不良）	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。<項目６>
″Ｅ０２″表示	● リモコンが正しく接続されていない。（リモコンから室内ユニットへの送信不良）	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
″Ｅ０９″表示	――――	――――	――――	● 親リモコンが２台設定されている。	● <項目６>″システムコントロールする場合″を参照して正しく設定してください。
″Ｅ１４″表示	――――	――――	● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● 左と同じ。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
″Ｅ０４″表示	● 室内外接続線および信号線の接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
″Ｅ０６″表示	――――	● 室内外接続線の断線、接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● <項目６>″システムコントロールする場合″を参照して正しく設定してください。
″Ｅ１５″表示	● 室内ユニット容量が少ない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 室内・室外ユニット総合容量を適切な能力であることを確認してください。
″Ｅ１６″表示	● 室内ユニット容量が多い。				
″Ｅ２０″表示	● 室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。				● 室内ユニットに電源が入っているか、室内外接続線は正しく接続されているか確認してください。
″Ｐ０５″表示	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 左と同じ。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
″Ｌ０２″ ″Ｌ１３″表示	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	――――	● 室内・室外ユニットの機種が合っていることを確認してください。
″Ｌ０７″表示	――――	――――	● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 左と同じ。	● 自動アドレス設定を行ってください。<項目６>
″Ｐ０９″表示	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
″Ｐ１２″表示	● 室内ユニットのＤＣ送風機異常。	● グループいずれかの室内ユニットのＤＣ送風機異常。	● 室内ユニットのＤＣ送風機異常。	● 左と同じ。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● ＤＣ送風機と基板間の配線を確認してください。

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊″サービス技術資料″を参照してください。

室外基板上のＬＥＤ表示
誤配線接続の場合、室外基板の「ＬＥＤ１が４回点滅」で（Ｅ警報）「ＬＥＤ２が２２回点滅」で（Ｅ２２警報）になります。 処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のＬＥＤ表示（ＬＥＤ１，２が交互点滅します）
「Ｅ１５警報」ＬＥＤ１、２共０．２５秒ＯＮ／０．７５秒ＯＦＦ同時点滅します。 「Ｅ２０警報」ＬＥＤ１，２共０．７５秒ＯＮ／０．２５秒ＯＦＦ同時点滅します。 上記以外の警報（「Ｅ１５，Ｅ２０以外」は、同時点滅します。

6. システムコントロールする場合

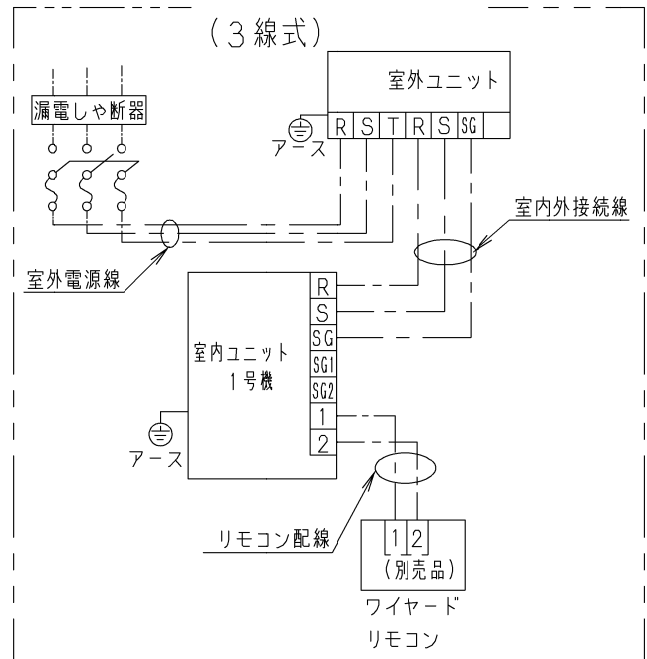
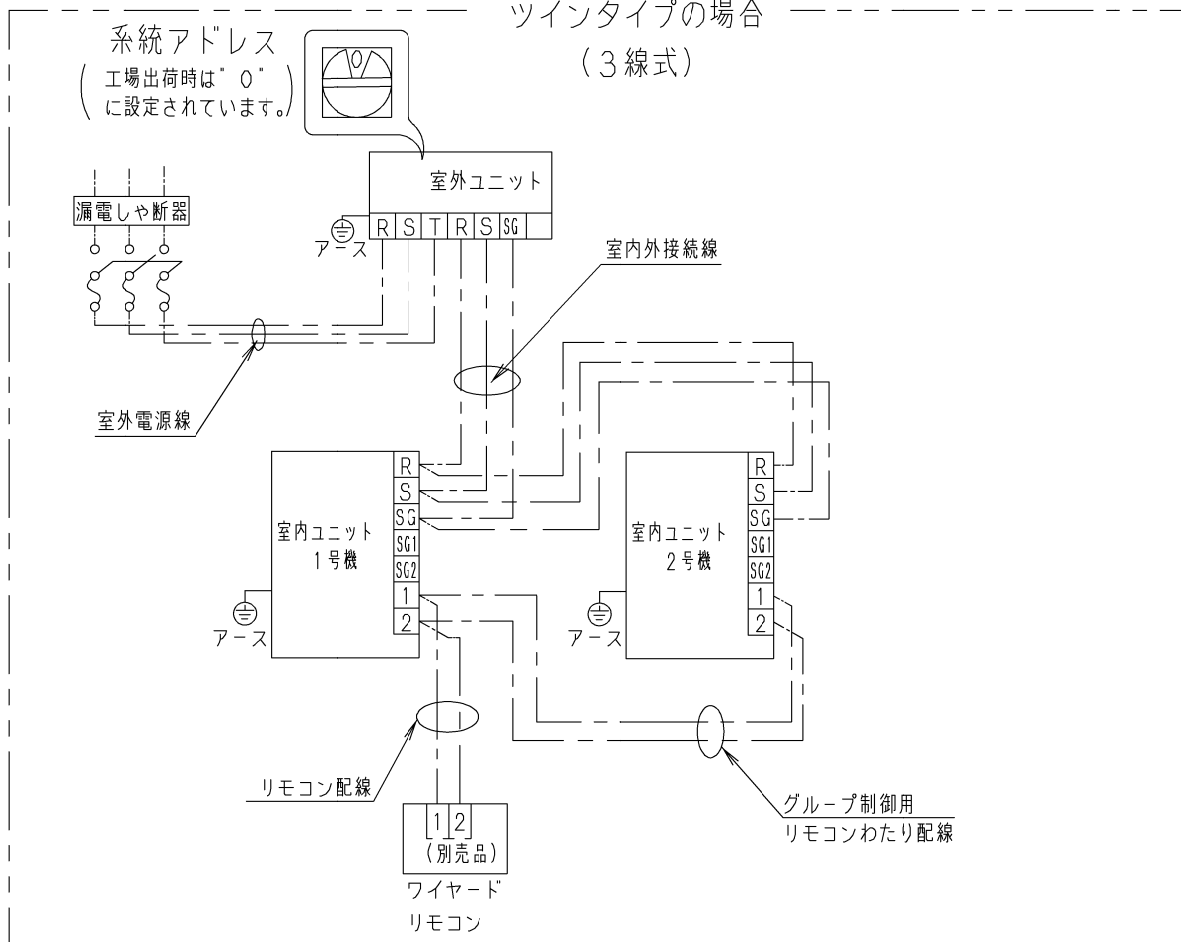
システムコントロールとは、ツインタイプ、グループ制御、親・子リモコン制御する場合です。
シングルタイプ・ツインタイプは＜項目６－１＞を参照してください。

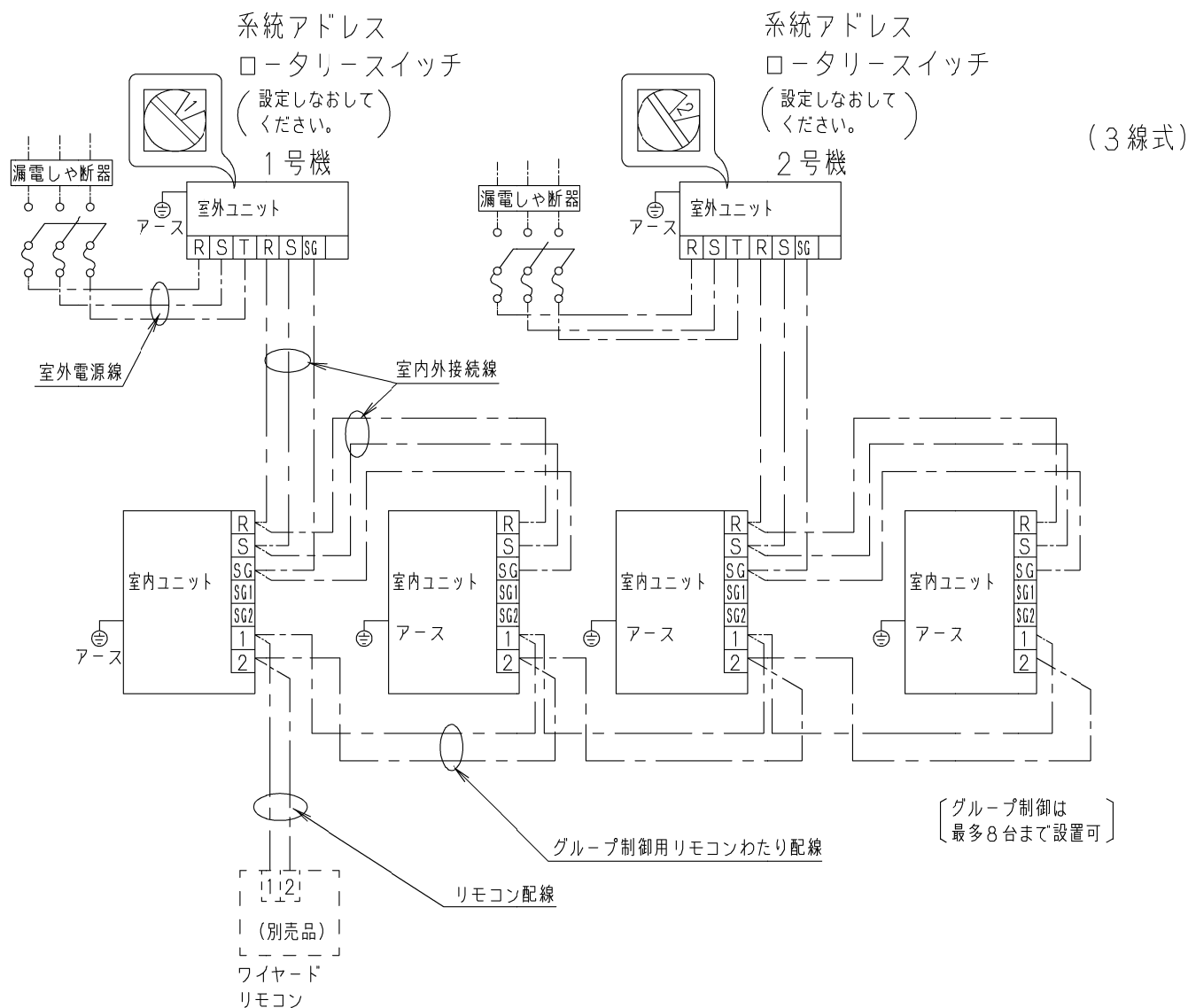
６－１ 基本配線図１　シングルタイプおよびツインタイプの場合。

● 同時マルチ
このユニットは、ＣＳ－Ｐ１８０ＡＧ3では、１冷媒系統に室外ユニット１台・室内ユニット１台のシングルタイプで使用することができます。また、ＣＳ－Ｐ１１２ＡＧ3では、室外ユニット１台に室内ユニットを２台接続して使用することができます。
（ツインタイプでは、個別にリモコンを接続しての単独運転はできません。）

● 配線は誤配線のないように接続してください。
（誤配線するとこわれます。）

● 室内・室外の電源を入れると自動アドレスを設定します。（室外ユニットが１台の場合、系統アドレスが０の場合）この時、約１０分程度かかります。自動アドレス中は、室外コントロール基板のＬＥＤ１とＬＥＤ２が交互点滅し、完了時は消灯します。

● アドレス完了後、１分３０秒以上待ってから、運転を開始してください。

6－2 基本配線図2 グループ制御の場合。（集中制御機器を使用しない場合）

●1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。
（冷媒系統が室外ユニット1台に対し室内ユニット2台の場合）、手元電源スイッチを入れる前に、
系統アドレス（冷媒配管系統アドレス）の設定を
してください。（<項目6－3>″室外ユニット系統アドレスの設定方法″参照）
（室外コントロール基板、系統アドレスロータリースイッチで設定してください。）

（配線の手順）

1．リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）に接続してください。（リモコン配線）

2．室内ユニット（R，S，SG）と室外ユニット（R，S，SG）を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット（冷媒系統が異なる）も同様に行ってください。（室内外接続線）
冷媒系統毎の室内ユニットの（R，S，SG）間のわたり配線をそれぞれ接続してください。（室内外接続線）

3．室内ユニット（リモコンを接続したユニット）リモコン配線用端子板（1．2）から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）にリモコンわたり配線（2線）をそれぞれ接続してください。
（リモコンわたり配線）

4．自動アドレスの設定は、室内・室外共電源を入れ、リモコンで設定してください。
（<項目6－4>″自動アドレス設定方法″参照）

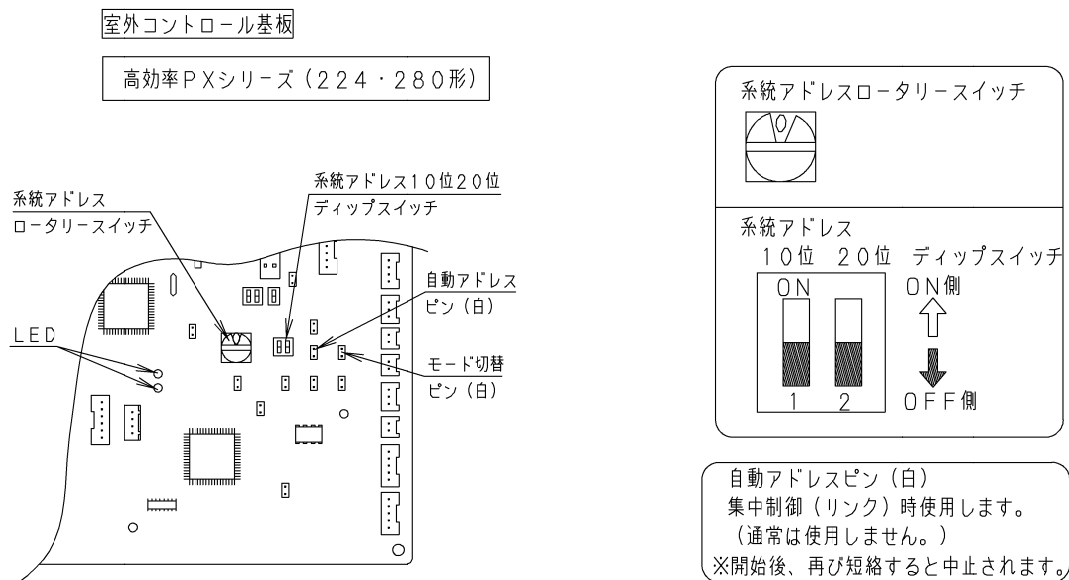
6－3 室外ユニット系統アドレスの設定方法

手元電源スイッチを入れる前に行ってください。

基本配線図2の場合（系統アドレス1、2、・・・と設定してください。）

室外コントロール基板

高効率PXシリーズ（224・280形）

自動アドレスピン（白）
集中制御（リンク）時使用します。
（通常は使用しません。）
※開始後、再び短絡すると中止されます。

系統アドレス番号	系統アドレス 10の位（2Pディップスイッチ）10位20位	系統アドレス 1の位（ロータリースイッチ）
0 自動アドレス（出荷時設定" 0 "）	両方共OFF	設定0
1（室外ユニットが1号機の場合）	両方共OFF	設定1
2（室外ユニットが2号機の場合） ：	両方共OFF ：	設定2 ：
11（室外ユニットが11号機の場合） ：	10位が ON ：	設定1 ：
21（室外ユニットが21号機の場合） ：	20位が ON ：	設定1 ：
30（室外ユニットが30号機の場合）	10位と20位が ON	設定0

6－4 リモコンからの自動アドレス設定方法

基本配線図2の室外ユニットが複数台でグループ制御の場合

冷媒系統毎のアドレス設定方法

室内外ユニット全て電源を入れ、リモコンで設定してください。（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 または SETTING と点滅表示します。） （電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。）

●リモコンのタイマー時間 ▲ ＋ 点検 ボタンを同時に押し（4秒以上）、温度設定 ▲／▼ ボタンどちらかを押してください。

（項目コード" A1 "表示：系統別自動アドレス）

自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）の系統番号を ユニット選択 または UNIT選択 ボタンで選び、 セット ボタンを押します。

（1冷媒系統の自動アドレスを行ないます。）系統1の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。

●系統2も同様にアドレス設定してください。（アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください）

６－５　室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

１．複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。

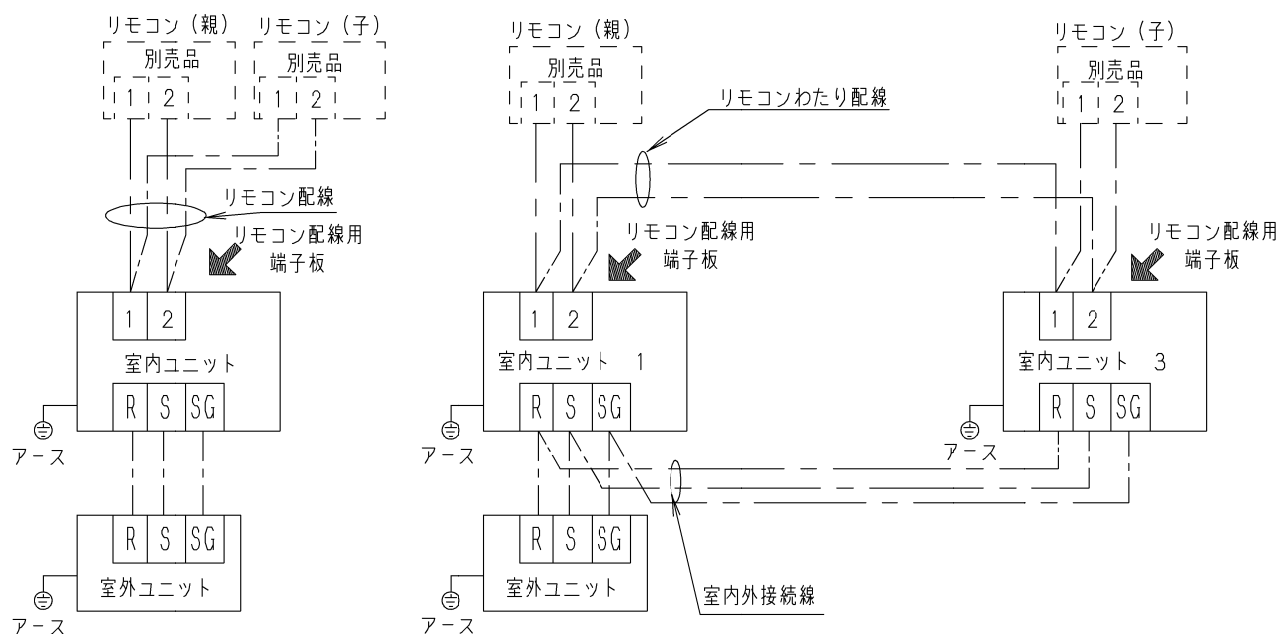
（例）　（室外）１－（室内）１、２・・・　　（室外）２－（室内）１、２・・・

２．メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

※リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。点検　ボタン＋換気　ボタンを４秒以上押し（簡単設定モード）ユニット選択　または　ＵＮＩＴ選択　ボタンで室内アドレスを指定します。（ボタンを押すごとに１－１、１－２・・・２－１、２－２・・・と変更します。）選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転しますので、確認し、室内ユニットのアドレス表示をしてください。
再度、点検　ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊空調設備設計資料等を参照してください。

６－６　親・子リモコン制御　　２個のリモコンで制御する場合。

この親・子リモコン制御は、１台もしくは複数台の室内ユニットを２個のリモコンで操作するものです。
（最多２個まで接続可能です）

- 室内ユニット１台を、リモコン２個接続して操作する場合
- ツインタイプをリモコン２個接続して操作する場合

（ワイヤードリモコンの設定方法）

１．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

２．その他のリモコン（子リモコン）は、セット＋運転切換ボタンを同時に４秒以上押します。

３．温度設定　▼　／　▲　ボタンで項目コード０１を指定します。

４．時間　▼　／　▲　ボタンで設定データを０００１（親）から００００（子）に変更します。

５．セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

６．点検ボタンを押します。
子リモコンは、室内ユニットに接続しても動作します。

裏面につづく

試運転担当のかたへ（リンク配線の場合）

アグリmo
ぐっぴー専用

裏面

本説明書は、リンク配線の場合のみの説明書ですので、別紙「電気工事」「据付工事担当」のかたへも、必ず参照してください。

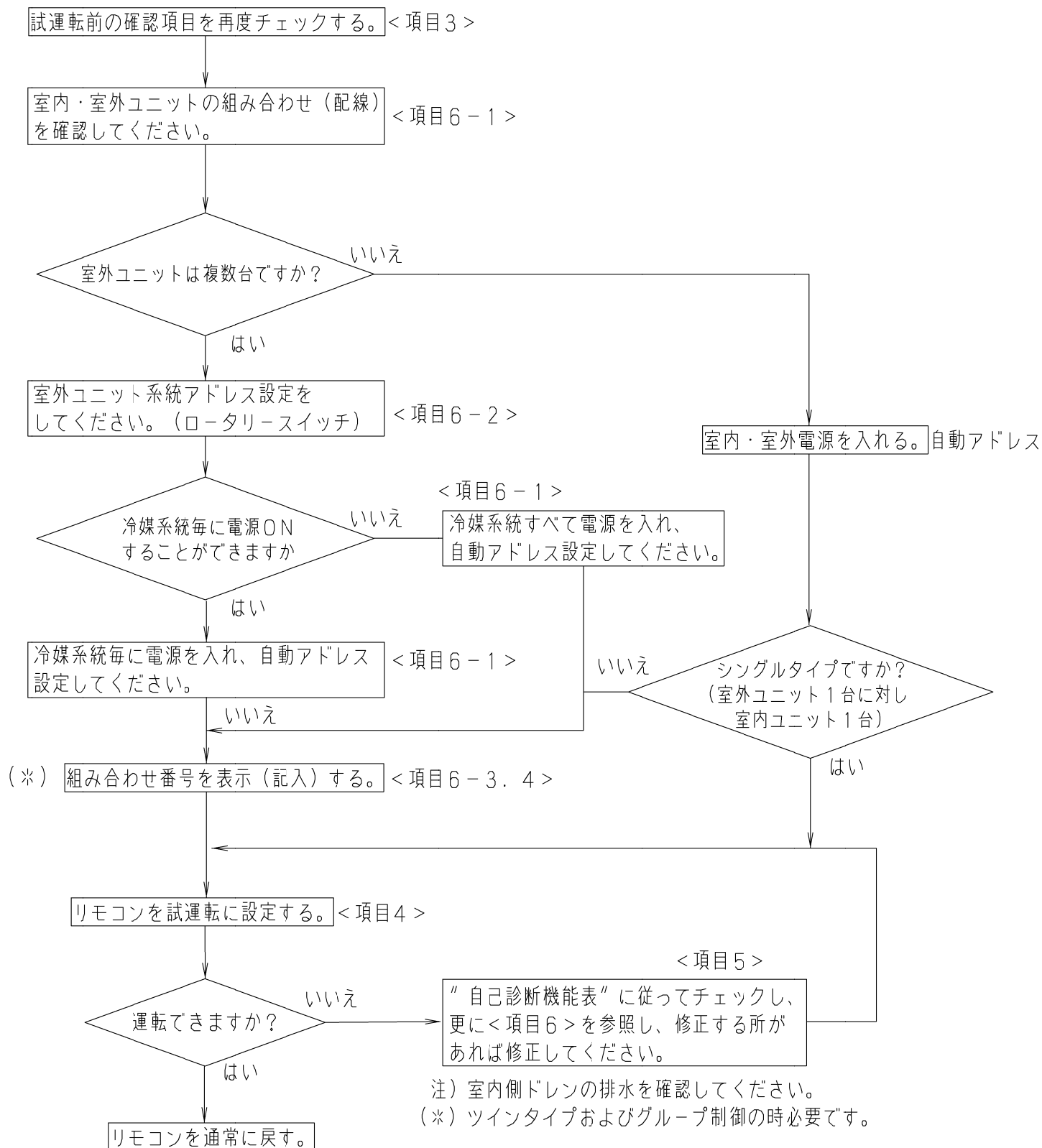
1．注　意

集中制御機器を使用する場合には、
S－LINKアダプターが必要になります。

- このユニットは、CS－P180AG3では、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプで使用することができます。また、CS－P112AG3では、室外ユニット1台に室内ユニットを2台接続して使用することができます。
- リンク配線する場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるよう室外ユニット系統アドレスを設定すると同時に、組み合わせが確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に室内・室外組み合わせ番号を表示してください。（後日、メンテナンスに必要となります。<項目6－2．3．4>参照）
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして"取扱説明書"を説明した上で、実際に操作していただいてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内ユニット7P端子板のSG1，SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
  誤ってAC200Vを印加した場合は室内コントロール基板のヒューズ（0．4A）を溶断して基板を保護するようにしています。配線の接続を修正した後、基板に接続されている、2Pコネクタ（青、OC）を外して、2Pコネクタ（茶、EMG）に差し換えてください。（下図参照）
  茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線（JP007）をカットしてください。
  （作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください。）
- 室外ユニット7P端子板のSG（SG1），SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
  誤ってAC200Vを印加した場合は、回路を溶断して基板を保護するようにしています。
  配線の接続を修正した後、室外コントロール基板の（EMG）コネクタに接続されている短絡ピンを「1から2」へ差し替えてください（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください）

２．試運転手順

注）室内側ドレンの排水を確認してください。

（※）ツインタイプおよびグループ制御の時必要です。

3．試運転前の確認項目

1　手元電源スイッチは圧縮機保護のため１２時間以上前に入れてください。
2　ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4．リモコン試運転設定

1　リモコンの［点検］ボタンを４秒以上押してから、［運転／停止］ボタンを押してください。
- 試運転中は液晶表示部に［試運転］または［ＴＥＳＴ］と表示されます。
- 「試運転」モードでは温度調節はできません。
（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2　「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後は約３分間は室外ユニットは運転しません。

3　正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
右記＜項目５＞の”自己診断機能表”を参照して修正してください。

4　試運転終了後は再度［点検］ボタンを押して液晶表示部の［試運転］または［ＴＥＳＴ］消灯を確認してください。（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー試運転解除機能付となっています。）

5　インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を１０分以上行ってください。（欠相確認のため）

5．自己診断機能表と処理方法

Ｓ－ＬＩＮＫアダプターの表示

赤色ランプ	状態	対応
消灯	本基板に電源が 供給されておりません。	・Ｓ－ＬＩＮＫアダプターと室外ユニット（または室内ユニット）基板との配線があるか確認してください。 ・コネクターがしっかりささっていることを確認してください。 ・空調機の電源が入っていることを確認してください。
点滅	原因	処置
	空調機と通信異常	・室内外接続線、および、信号線を確認してください。
	室外ユニットのアドレス 重複異常	・同じ冷媒系統にもう１台Ｓ－ＬＩＮＫアダプターが接続されていないか確認してください。 ・リンクを接続した空調機が同じ系統アドレスでないか確認してください。

ワイヤードリモコンなどの表示	原因 グループ制御、同時運転マルチの場合	処置方法
全く表示されない	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
「設定中」が消えない（１０分程度）	● 室内外能力の不一致、他。	● 下記室外自動アドレス中のＬＥＤ表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。
"Ｅ０１" 表示	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。 ＜項目６＞
"Ｅ０２" 表示	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 正しく接続してください。
"Ｅ１４" 表示	● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
"Ｅ０４" 表示	● 室内外接続線の接続不良。	● 正しく接続してください。
"Ｅ０６" 表示	● 室内外接続線の断線、接続不良。	● ＜項目６＞"基本配線図"を参照して正しく設定してください。
"Ｅ１５" 表示	● 室内ユニット容量が少ない。	● 室内・室外ユニットの総合容量を適切な能力であることを確認してください。
"Ｅ１６" 表示	● 室内ユニット容量が多い。	
"Ｐ０５" 表示	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
"Ｐ０９" 表示	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
"Ｐ１２" 表示	● グループいずれかの室内ユニットのＤＣ送風機異常。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● ＤＣ送風機と基板間の配線を確認してください。
"Ｌ０２" "Ｌ１３" 表示	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 室内・室外ユニットの機種が合っているか確認してください。
"Ｌ０７" 表示	● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 自動アドレス設定を行ってください。 ＜項目６＞
"Ｌ１０" 表示	● 別途室外メンテリモコンで室外の能力を確認してください。	

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊"サービス技術資料"を参照してください。

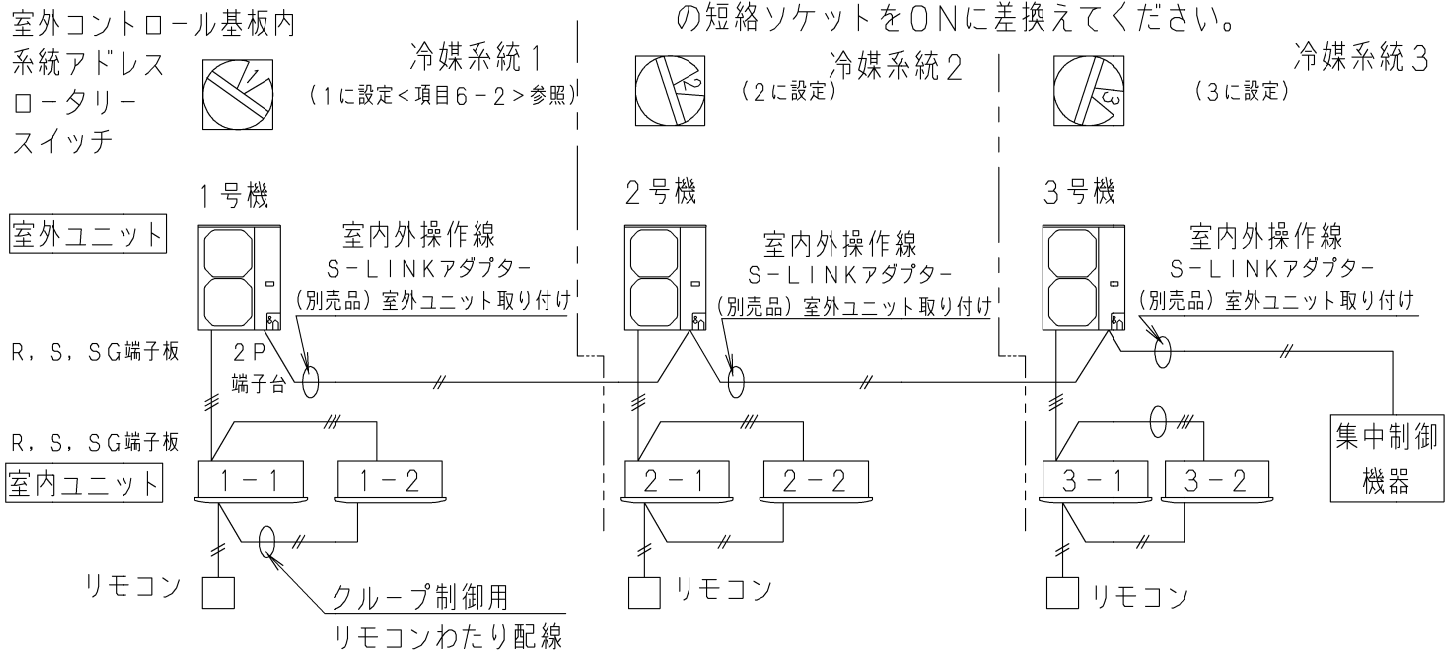
室外基板上のＬＥＤ表示
誤配線接続の場合、室外基板の「ＬＥＤ１が４回点滅」で（Ｅ警報）「ＬＥＤ２が２２回点滅」で（Ｅ２２警報）になります。 処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のＬＥＤ表示（ＬＥＤ１，２が交互点滅します）
「Ｅ１５警報」ＬＥＤ１、２共０．２５秒ＯＮ／０．７５秒ＯＦＦ同時点滅します。 「Ｅ２０警報」ＬＥＤ１，２共０．７５秒ＯＮ／０．２５秒ＯＦＦ同時点滅します。 上記以外の警報（「Ｅ１５，Ｅ２０以外）は、同時点滅します。

6．自動アドレスの設定方法

6－1 基本配線図 ●リンク配線。

注意：グループ制御。１個のリモコンで、室内ユニット最多８台まで接続可能です。
・S－LINKアダプターを取り付け、リンク配線する場合はS－LINKアダプター（１台のみ）終端プラグ（黒）の短絡ソケットをONに差換えてください。

室外コントロール基板内系統アドレスロータリースイッチ
冷媒系統１（１に設定＜項目６－２＞参照）
冷媒系統２（２に設定）
冷媒系統３（３に設定）
１号機 ２号機 ３号機
室外ユニット
室内外操作線 S－LINKアダプター（別売品）室外ユニット取り付け
R，S，SG端子板
２P端子台
R，S，SG端子板
室内ユニット
１－１ １－２ ２－１ ２－２ ３－１ ３－２
集中制御機器
リモコン
グループ制御用リモコンわたり配線

室外ユニットから自動アドレスの設定方法

ケース１

●冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも圧縮機を運転せずに室内ユニットのアドレス設定ができます.

1．・冷媒系統毎に電源が「ONできる場合」１冷媒系統の室内・室外ユニットの電源を入れてください。
・冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」全ての室内・室外ユニットの電源を入れてください。
（電源を入れてから、１分３０秒以上待ってアドレス設定してください）

⬇

・「冷媒系統毎に電源がONできる場合」電源をONにした室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。
・「冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」自動アドレスしたい室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。 ＜項目６－２参照＞

（自動アドレス設定の通信が始まります。）

⬇

（室外コントロール基板上のLED１と２が交互点滅し、完了時は消灯します。）＜約１０分程度かかります＞

⬇

2．次に他の系統の室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。

⬇

（室外コントロール基板上のLED１と２が、交互点滅し、完了時は消灯します。）

⬇

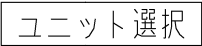
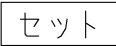
（同様の動作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください）

⬇

3．アドレス完了後、１分３０秒以上待ってから運転を開始してください。

リモコンから自動アドレスの設定方法

ケース２

●冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ＯＮできる場合」「ＯＮできない場合」どちらも
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

系統別に自動アドレス設定を行います。（項目コード”Ａ１”表示）
（電源を入れてから、１分３０秒以上待ってアドレス設定してください）

１．リモコンのタイマー時間 [▲] ＋ [点検] ボタンを同時に押します。（４秒以上）

２．次に温度設定 [▲] ／ [▼] ボタンどちらかを押してください。＜項目コード”Ａ１”表示＞

３．自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）
の系統番号を [ユニット選択] または [ＵＮＩＴ選択] ボタンで選び、 [セット] ボタンを押します。

（１冷媒系統の自動アドレス設定を行ないます。）

系統１の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。＜約１０分程度かかります。＞
系統２以降も同様にアドレス設定してください。

（自動アドレス中は、リモコンに [設定中] または [ＳＥＴＴＩＮＧ] と、点滅表示し、完了時には消灯します）

アドレス設定後１分３０秒以上待ってから運転を開始してください。

ワイヤードリモコン

タイマーリモコン

６－２ 室外ユニット系統アドレスの設定方法

基本配線図の場合（系統アドレス１、２、３・・・と設定してください。）

室外コントロール基板

高効率ＰＸシリーズ（２２４・２８０形）

自動アドレスピン（白）
集中制御（リンク）時使用します。
（通常は使用しません。）
※開始後、再び短絡すると中止されます。

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位（２Ｐディップスイッチ）１０位２０位	系統アドレス　１の位（ロータリースイッチ）
０　自動アドレス（出荷時設定”０”）	両方共ＯＦＦ　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共ＯＦＦ　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合）	両方共ＯＦＦ　・・・　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定２　・・・
１１（室外ユニットが１１号機の場合）・・・	１０位が　ＯＮ　・・・　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定１　・・・
２１（室外ユニットが２１号機の場合）・・・	２０位が　ＯＮ　・・・　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定１　・・・
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が　ＯＮ　ＯＮ側　１　２　ＯＦＦ側	設定０

６－３ 室内ユニットのアドレス確認

●シングルタイプの場合

・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

１．点検ボタン＋換気ボタンを４秒以上押してください。（簡単設定モード）

２．リモコンにＡＬＬが表示されます。

３．次に、ユニット選択またはＵＮＩＴ選択ボタンを押します。

４．リモコンに接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

５．再度、点検ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

●グループ制御をしている場合

・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

1．点検ボタン＋換気ボタンを４秒以上押してください。（簡単設定モード）

2．リモコンにＡＬＬが表示されます。

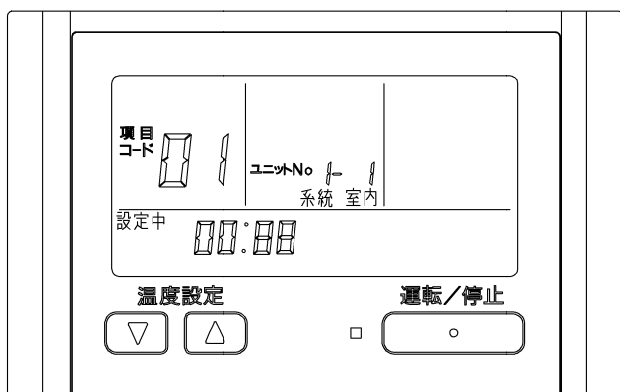
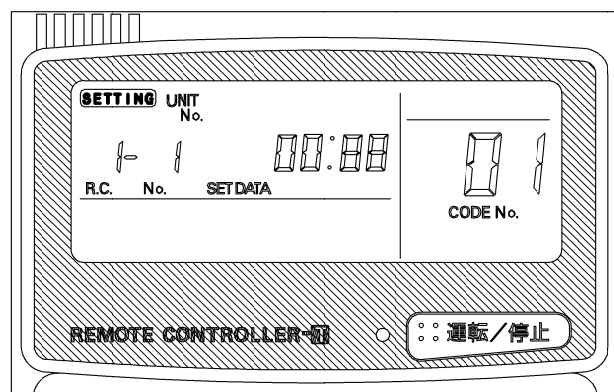
3．次に、ユニット選択またはＵＮＩＴ選択ボタンを押します。

4．リモコンに接続されている室内ユニットのアドレスが表示され、その室内ユニットのファンが回転し、風が出ることで確認できます。

（系統アドレスが１号機の場合、ボタンを押す毎に１－１、１－２・・・１－１と変更します。）
（選択された室内ユニットのみ、室内ユニットのファンが回転します）

5．順次、ユニット選択またはＵＮＩＴ選択ボタンを押し、室内ユニットのアドレスを確認してください。

6．再度、点検ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

ワイヤードリモコン

タイマーリモコン

6－4 室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1．複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。
（例）　（室外）１－（室内）１、２・・・　　（室外）２－（室内）１、２・・・

2．メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

●リモコンで室内ユニットのアドレスを確認する方法

点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押し（簡単設定モード：“ＡＬＬ”表示）、ユニット選択 または ＵＮＩＴ選択 ボタンで室内アドレスを指定します。
（系統アドレスが１の場合、ボタンを押すごとに１－１、１－２…１－４、ＡＬＬ、１－１と変化します。）
選択された室内ユニットのみ室内ファンが運転しますので、室内ユニットのアドレスを確認してください。
（系統アドレスが２号機の場合は、２－１，２－２・・・・と表示されます。）
再度、 点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊空調設備設計資料等を参照してください。

85464369556000